

令和8年3月15日

指導者・関係者 各位

鹿児島県バレーボール協会  
会 長 前 田 俊 広

## バレーボール指導中の体罰等根絶及び大会中のマナー・モラルの向上について（通知）

平素から、本協会の事業及び競技力向上に取り組んでいただき厚く感謝申し上げます。

さて、日本バレーボール協会では、「指導における倫理ガイドライン」を公表しており、体罰等の撲滅に努めていますが、未だに体罰や暴言・不適切行為等が発生しているのが現状です。

本県におきましても、体罰や暴言・不適切行為等の事例が発生しており、大会中におけるマナー・モラルの低下も指摘されております。

このような状況を鑑み、本県協会にも倫理委員会を設置しており、体罰や暴言・不適切行為等の根絶及びマナー・モラルの向上に向けて一層取り組んでいく所存であります。

つきましては、下記事項についてご理解いただき、各位が責任ある行動と自覚を持つと共に、選手の皆さん方にも周知徹底いただきますようよろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 体罰や暴言・不適切行為等の根絶について

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会の「指導における倫理ガイドライン」の理念と目的が正しく理解されることにより、適切でより効果的な指導が行われることを目指し、選手の人権・人格を尊重した指導を行う。
- (2) 公益財団法人日本バレーボール協会においては、相談窓口・通報フォームを設置し、対策や予防に努めている。また、指導者研修やコンプライアンス教育の充実に努めている。
- (3) 文部科学大臣メッセージ「スポーツ指導における暴力根絶に向けて」や公益財団法人日本スポーツ協会会長メッセージなどを踏まえ、フェアプレーと非暴力の精神を尊重し、「スポーツ指導から暴力を一掃する」という基本原則を推進する。
- (4) 選手間の「いじめ」等について、常に注視し、健全なチームの運営に努める。

#### 2 大会におけるマナー・モラルの向上について

- (1) 体育館使用上の留意点を遵守すること。  
特に、指定場所以外での喫煙。 弁当がら・ペットボトル・空き缶等の持ち帰り。 体育館周辺の違法駐車など。
- (2) ルールに精通しておくこと。  
大会役員や審判員に対しての、チーム（監督や選手・応援者等）からの暴言や過度な抗議等。
- (3) フェアプレーと非暴力の精神を尊重すること。  
違う選手の名前を借りての出場や、参加資格のない選手の出場、サイン盗みや選手に対する暴力・暴言等。

※各チームの責任で、指導者・選手・スタッフ・応援者等へ周知徹底してください。

以上